



団体による日本舞踊の体験教室



団体による和太鼓の体験教室



団体による日本舞踊の体験教室



太白こども邦楽と舞のサークルのメンバーで「越後獅子」を実演

仙台市伝統文化親子教室事業の担当者にお話を伺いました

参加される団体が複数なので日程調整など様々な調整事項が発生するのでなかなかスタミナが感じています。

■ イベントを開催するにあたっての苦労などは
やはり集客の問題が一番です。広報先も色々な方に協力をいただき、JRの駅、生協、児童館、図書館などをお願いをしに行っております。開催場所まで足を運んでいただく為、どういったアピールをしたらいいのか、どんなチラシの作り方をしたらいいのかを考えました。

参加される団体が複数なので日程調整など様々な調整事項が発生するのでなかなかスタミナが感じています。

■ 参加申し込みを当日受付にしたのは
以前はウェブで申し込み受け付けていました。しかし夏に似たようなイベントを行った時には、当日参加で多くの人が来てくれました。この経験から、幅広い集客に繋げるため、当日受付にしました。多くの方が来場されても大丈夫なようにお楽しみコーナーのブースも増やしました。



仙台市教育委員会 生涯学習部 文化財課
二宮 洋一(左) 柴田 義大(右)

■ 教室実施型以外の団体は
文化財課にかかるところで伝統的工芸品の松川だるま、日本遺産に登録されている仙台七夕の和紙を使った筆記用具、仙台市秋保で四百年続いている秋保在来そば等の協力をいただきました。

■ 伝統文化の継承についての自論
まったくの自論ですが、後継者が不足しているという課題ももちろんですが、存在そのものを知らせてもらえていないことも課題だと感じています。アンケート結果からも周知不足を痛感しており、これからは知ってもらう・体験してもらう機会が特に大事と考えます。

イベント



2024年11月には仙台で受け継がれる文化財や、伝統的な文化や芸能・技に、体験を通して親しむことを目的として「せんだい技フェス」を開催しました。

- ◆2024年11月30日開催
対象：幼児～高校3年生 及び 保護者
会場：仙臺緑彩館 交流体験ホール
実施教室：三味線体験教室等 計5体験教室
(内：教室実施型団体：1団体2教室)
その他：昔の遊びコーナー等のお楽しみコーナー
教室参加者：5体験教室で延べ510人

概要

仙台市教育委員会(生涯学習部文化財課)は、2021年から伝統文化親子教室事業の地域展開型事業に参画しておりますが、参画当初より地元仙台の教室実施型の団体と連携して、伝統文化体験イベント(フェア)を開催しています。
連携する教室実施型の団体は年度により入れ替わり、2023年は華道・茶道の団体と連携し、2024年11月には邦楽・日本舞踊の団体と連携して開催。
2025年2月には剣舞・鹿踊、及び田植踊の団体と連携。



2025年2月開催
教室参加者：3体験教室で40人

教室型参画事業の優良事例、地域特有の分野を実施する取組
仙台市伝統文化親子教室事業

イベントに参加された方にお話を伺いました

子ども3人と来ました。中1の長女が踊りの体験中で、その間に下の2人と三味線の体験をしました。来年も来たいです。



【仙台市にお住まいのFさん親子】

私が和楽器にずっと興味があり子どもと一緒に「こうと誘って和太鼓の体験に来ました。お子様「楽しかった!でも、ちょっと難しかった」今日は二人の子どもの内お兄ちゃんだけ連れて来たのですが、来年もあるなら妹も連れてきたいと思っています。



【仙台市にお住まいのAさん親子】

参加者訪問インタビュー

小学校にチラシが配布されませんが、ずっと気になっていて、仙台市内に住んでいる友人から連絡が来て急ぎよ参加しました。



【名取市にお住まいのSさん親子】



以前から伝統的な松川だるまが気になっていたので、小学校でイベントのチラシをいただいたので参加しました。子どもと相談のうえ申し込む教室を選びました。



【仙台市にお住まいのSさんご一家】

連携した教室実施型の団体の方にお話を伺いました



【春千代さん】

大学1年生 / 13年目

■体験イベントと教室の連携について
先日、私どもの教室で45周年の発表会を開催しました。教育委員会に許可をいただいて色々な学校に二千枚ほどのチラシを配布して、さらに百五十席のご招待を準備していました。当日はサークルの生徒も出演してましたが、四十人位しか来ていただけなくて残念でした。でもこういうイベントでは多くの方々に知っていただき、興味を持っていただけます。このような体験イベントをきっかけに入会された方も数名いますので頑張っ

卒業生訪問インタビュー

■教室に通い始めた理由は？
私の背筋が悪く日本舞踊は背筋が真っ直ぐになっていいなと思っていました。母が震災で知り合った方に教室の事をきいて体験教室に入りました。
■日本舞踊を続けるにあたっての決意は
いずれ名取になりたいと思うようになります。教室を卒業しても続けました。今は準名取として教室のお手伝いをさせていただいております。

太白こども邦楽と舞のサークル



代表 庄子 千恵

幼児から高校生までそれぞれの年齢層にあわせた楽しいお稽古で舞台発表や敬老会・ディサービスでの発表もしています。小さい時に本物の文化に触れることを大切に、様々な貴重な体験が自信に繋がるように活動しています。

■これからの展望
礼儀作法は小さい頃からやっていた方がいいと思うので、学校などで日本舞踊などを取り入れてくれればいいなあと思います。将来は講師の資格も取って教室を持つて子どもを教えるようになってみたいです。

■伝統文化に接していて気をつけている事
普段から着物を着た時をイメージして歩く時にバタバタしないよう気をつけています。
■教室でお手伝いをしていて感じる事
扇子を持った手の動きなど、言葉で説明してわかってもらおうのは自分です。やるよりも難しいと感じています。

活動風景



イベント会場

仙臺緑彩館 交流体験ホールにて体験イベントを行いました。



イベント風景

イベント当日の自由参加のため、受付で希望コースと時間を登録してもらいます。



イベント風景

イベント開始前から行列ができたので、最後尾の案内プラカードを出して混乱が出ないように努めました。



体験風景

和服を着付けてもらい、踊りの稽古に参加してもらいます。



体験風景



体験風景

親子教室の受講生も交ざって、簡単な曲を練習します。



体験風景

体験教室の卒業生もお手伝いで参加して簡単な曲に合わせて日本舞踊の体験をしました。



体験風景

初めて触る三味線や太鼓で、実際に鳴らして体験してみます。



体験風景

仙台市のその他の伝統文化体験コーナー



松川だるま 絵付け体験
江戸時代から伝わる松川だるまの絵付けを体験できます。



色々遊べる お楽しみコーナー



お楽しみ体験コーナーも併設しました。



仙台七夕和紙
仙台の伝統文化である仙台七夕まつりで使用した本物の和紙を使って、筆記用具作りを体験します。